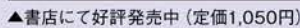


米と

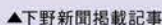


「私の生きた刻」は下野新聞の土曜日付総合社会面に掲載されている大型企画で、教育・政治・文化・スポーツなど各分野で一時代を築いた方々が「わが人生」を語るものです。興味深い読み物であると同時に、栃木県を代表する人物の歴史的資料として、読者からの反響も大きい連載企画です。そのコーナーに、平成二十四年四月から約半年間、本校の須賀淳校長先生のお話が掲載されました。

今回、その下野新聞に掲載されたものを一冊の本にまとめ、**未来を育む「全人教育」私の生きた刻**と題し、下野新聞社から発刊されました。

昨年末に下野新聞社から、土曜日に連載されている「私の生きた刻」というシリーズに私をとり上げてくださるというお話がありました。「私の生きた刻」といってもその内容は須賀学園の歴史中といったもよいでしょう。それは、私が学校の歴史の中で生まれ、育ち、そして今日まで生徒たちと一緒に生活しているからです。

——(あとがきより抜粋)



若鮎

発行所
宇都宮短期大学附属高等学校
編集委員会
宇都宮市睦町1番35号
印刷所
ヤマゼンコミュニケーションズ(株)

私は、部長として責任を持って、3年間ソフトテニスに打ち込みました。しかし、勉学の手を抜いたことはありません。それが歴代の先輩方から学んだ姿勢だからです。持った精神を胸に、大学でも夢を追いかけていきます。

【備考】・2年次、3年次も成績が優れた方は、継続となります。
・上記の学力特待生に該当しない場合でも、入試の成績により、一般生として合格となることがあります。



▲音楽科 野沢漢華さん(陽西中出身)による独奏



▲情報商業科 マルチメディア体験



▲プロのパティシエによる「スイーツ実習」

今年で第十五回目を迎え、内容もさらにグレードアップした高校一日体験学習が、八月四日(土)から八月六日(月)までの三日間にかけて盛大に行われ、県内の中学校はもとより関東、東北、信越各県、さらにイギリスや中国の日本人学校などから約七〇校、五〇〇〇名を超える中学三年生や学校の先生、保護者の方々の参加がありました。

まず、須賀栄子記念講堂大ホールでは、須賀淳校長先生から、「中学三年生の皆さんにとって、はいよいよ高校進学を真剣に考える時期になったわけですが、本校の一日体験学習には、五〇〇〇名を超える皆様の参加が希望がありました。これは、今年創立百二十周年を迎える本校の長い伝統と「全人教育」の精神、時代のニーズに沿った教育内容や最新の施設設備などが高く評価されていることだと大変うれしく思っています。

高校は中学とは異なり、自ら選んで入学する場所です。ここにいる皆さんには、まず、来年一月に行なわれる本校の第一回入試を受験していただき、それから、三月の県立高校受験に挑戦していただきます。そして本校と県立高校の両方に合格を決めて、それぞれの高校の特色をよく見比べてうえで、自らの夢と希望が実現できる高校を、皆さん自身で決定してください。とあいさつがありました。

続く、パソコンを活用

あなたの夢と希望を見つける場所 ~DREAM&FUTURE~

高校一日体験学習に 県内高校最多の 5000名を超える参加者!



▲中学生でにぎわう前庭



▲各学科の発表に熱心に聞き入る、中学三年生と保護者の皆さま

◀生活教養科 ファッションショーのステージから



▲生活教養科 ファッションショーのステージから

宇短大・高校OG・OB ウィンドオーケストラが、4年連続金賞



8月5日(日)に開催された第54回栃木県吹奏楽コンクール(主催:栃木県吹奏楽連盟・朝日新聞社)の一般部門におきまして、宇都宮短期大学・附属高等学校OG・OBウィンドオーケストラが、4年連続の金賞を受賞!

9月23日(日)に宇都宮市文化会館で開催された第18回東関東吹奏楽コンクール(主催:東関東吹奏楽連盟)でも、銅賞を獲得しました。

団員の高校3年塩田春菜さん(片岡中出身)のコメント
「東関東大会金賞を目標に、今後も最高のハーモニーを奏でて参ります。応援よろしくをお願いします!」

生活教養科 手作りの エプロン寄贈



本校創立者である須賀栄子先生の命日にちなんで「やさしい心づかい運動」の一環で、生活教養科の生徒が製作した手作りエプロン七十二枚を宇都宮市役所に寄贈しました。今年で二十四回目の行事で、来夏に保育園などで体験実習を行う、二年生が製作を担当しました。毎年、保育園実習などでお世話になる皆様に感謝の気持ちを含めて、子ども部長の高橋利幸さんに手渡しました。

調理科 大使館ウィーク in Nikko



▲やしお餅と大根のマリネにフランス大使は「トレボロ!」

レセプションで
各国大使のお食事を担当

日光市では、原発事故の風評被害から観光客が減少していることから、安全安心を国内外に発信することを目的に、フランス、中国、韓国の三大大使館の協力ののもと、「大使館ウィーク in Nikko(ガンバレ日光)」と題して演奏会・絵画展・映画上映などの文化行事を開催しました。九月二十二日(土)、今市文化会館で開催されたオープニング式典のレセプションで、本校調理

情報商業科 情報商業科で 国立大学(宇都宮大学)合格!

本校情報商業科を今年三月に卒業した中嶋美峰さん(小山城南中出身)は高校時代に取得した検定を活かし、見事に第一志望の宇都宮大学に合格を果たしました。高校在学中は全国商業高等学校協会主催の検定に五種目合格するなど学業面で立派な成果を残しており、情報商業科での各種活動にも積極的に参加するなど充実した高校生活を送りました。

現在、大学では専門分野の研究だけでなく、サークル活動など積極的に参加するなど、高校時代に培ったバイタリティをいかして活躍しています。



中嶋美峰さんのコメント
現在、大学では経済学について学び、充実した大学生活を送っています。宇都宮大学に合格できたのも、周囲の温かい励ましと大学の推薦入試に向けて志願理由書の書き方や面接指導など、本校の先生方のご指導のおかげであると深く感謝しています。今の私があるのも、宇短附高の自己啓発できる環境ときめ細かい指導をしてくださった先生方のおかげだと思っています。

ヤオハン 宇都宮店で 地産地消 手作りパン 販売

今年六月から毎月一回、ヤオハン宇都宮店にて、仕入れから製造、販売まで生徒手作りの店舗運営により、焼き立て地産地消パンの販売をしています。栃木県産小麦(ゆめかおり)と日光の銘水(片山酒造仕込み水)で生地を作り、旬の栃木県産野菜を使用して、フランス風食パンと季節の味を取り入れた総菜パンで、毎回、長蛇の列ができてすぐに完売するほどの好評を博しています。



▲ヤオハン宇都宮店にて



科の生徒が、栃木県産食材を使用したフランス・中国・韓国各国の料理を作り、各国大使に召し上がっていただきました。

片柳会長・再任
平成二十四年度
PTA総会開く
平成二十四年度PTA総会が、五月二十五日(金)午後三時から須賀栄子記念講堂大ホールで開かれ、多くの保護者の皆さまが出席されました。協議内容は、平成二十三年度の決算および事業報告と二十四年度の予算事業計画の決議などでした。
なお、新正副会長は次のとおりです。(敬称略)
◎会長:片柳伸二(再任・普通科)
◎副会長:町田卓大(普通科後援会長)、生沼武(生活教養科後援会長、高橋一雄(情報商業科後援会長)、阿部武志(調理科後援会長)、大野春恵(音楽科後援会長)

会長に大出悠真くん
平成二十四年度
生徒総会開く
五月二十九日(火)午後三時四十分、須賀栄子記念講堂大ホールで平成二十四年度生徒総会が開かれ、新たに会長として大出悠真くん(三の十二)、副会長には片柳将彰くん(三の二)と戸松亮くん(二の二)が選任されました。
また、今年度の活動目標として、「東日本大震災への支援活動とエコキャップ回収」を掲げ、具体的な実施方法などを検討しました。本校全体として、これからも支援活動が続いていきたいと考えています。

編集後記

今号は、本校校長先生執筆の本の紹介、そして来年一月と二月に二回実施される平成二十五年度高校入試に関する特集記事です。校長先生のほかには本校の歴史を知ることができ、私たちにとっても貴重な一冊となっています。
また、夏休み三日間に行われた「一日体験学習」では、県内高校最多の五〇〇〇名を超える中学生や保護者の皆さまの真剣な表情が、とても印象的でした。
経済問題や国際問題など、多くの課題を抱える世の中で、今後は私たち一人ひとりが精いっぱい元気に学校生活を送ることが大切であると考えています。二十一世紀をリードする須賀学園の様子を、紙面のすみずみから感じ取っていただけたら幸いです。
(編集委員長・安納佳苗)